

ユーロ圏金融政策（2024年7月）

市場予想通り政策金利を据え置き

2024年7月19日

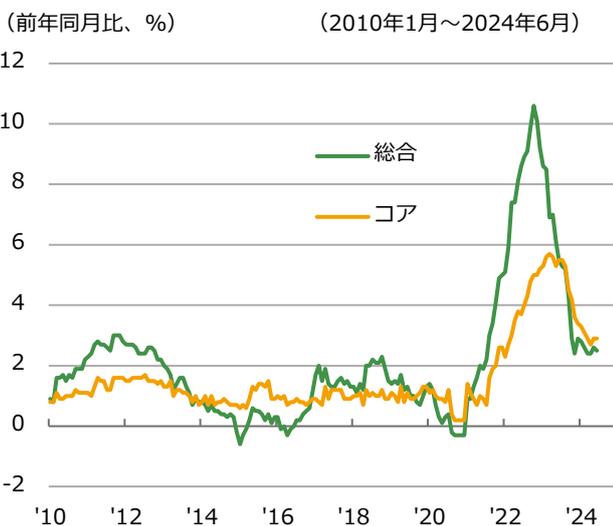
中期的なインフレ見通しに変化は見られず、9月に追加利下げへ

ECB（欧州中央銀行）は7月18日（現地）の理事会で、市場予想通り政策金利を据え置きました。決定は全会一致で、中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って預け入れる資金の金利）は3.75%、主要リファイナンス金利（1週間の資金供給オペの金利）は4.25%です。ECBは2023年9月に最後の利上げを実施して以降、4月まで5会合連続で政策金利を据え置いていましたが、前回6月に利下げに転じました。

声明文もほぼ予想された内容でサプライズはありません。2%のインフレ目標の達成のため政策金利を必要なだけ長く十分に引き締める的しておく、データに基づいて会合毎に決定を行う、特定の金利の道筋を事前に確約するものではない、政策決定においてはインフレの見通し、基調的なインフレの動向、金融政策の伝達の強さの3つを評価軸とするなどです。ラガルド総裁は記者会見で、次回9月については何も決まっておらず夏場のデータ次第である点を指摘し、利下げを「予告」することはありませんでした。

しかし、懸案である賃金に関しては、賃金交渉において過去のインフレの影響がタイムラグを伴って反映されるため年内は高い伸びが続くとしつつも、各種データを根拠に2025、26年にかけて、2%のインフレ目標と整合的な伸びへ大幅に鈍化するとの見通しを強調しています。ECBの中期的なインフレ見通しに変化は見られないことから、賃金、サービス価格が著しく上振れない限り、9月に追加利下げを実施する可能性は高く、その後も四半期毎に0.25%ptの利下げを実施すると当社は引き続き予想しています。

ユーロ圏の消費者物価指数



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
(出所) 欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は発表日ベース
(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。